福山市高齢者保健福祉計画２０２４（案）に係る
パブリックコメントの結果報告

２０２４年（令和６年）３月
保健福祉局長寿社会応援部

１　意見募集の概要と結果

（１）　概要

ア　公表した案

福山市高齢者保健福祉計画２０２４（案）

イ　公表の場所

福山市ホームページ，高齢者支援課，介護保険課，市政情報室，松永保健福祉課，北部保健福祉課，神辺保健福祉課，東部保健福祉課，新市支所保健福祉担当，沼隈支所保健福祉担当

ウ　意見の募集期間

２０２３年（令和５年）１２月１日（金）～２０２４年（令６年）１月５日（金）　３６日間

（２）　結果

ア　提出数

７通（個人７）

（郵送５，電子メール１，窓口持参１）

イ　意見の件数

２７件

(ｱ) 意見を計画に反映したもの　２件

(ｲ) 市の考え方を説明するもの　２１件

(ｳ) 今後の施策の参考とするもの　４件

※１通の提出に複数の内容が記載されている場合，それぞれの意見の内容ごとに要旨を整理しています。

(ｴ) その他　３件

意見の内容と市の考え方

（１）計画に反映したもの（２件）

No.	項目	意見要旨	意見に対する市の考え方	類似の意見数
1	P65　イ 新たな介護予防事業の実施	成果連動型～プロジェクトについては，あまりにも漠然として実現できるとは考えにくい。	成果連動型プロジェクトの説明や図をイメージしやすいように記載を変更しました。事業内容は，民間事業者からの提案を公募し，決定するため，現時点では，具体的な内容は決まっていません。今後，事業内容が決定した際には，多くの高齢者に参加していただけるように，事業の目的や活動内容を広く周知します。	－
2	P66　ウ 住民が主体となった通いの場の充実	参加者の中から趣味・特技を活かせるイベント（行事）を企画し，リーダー（スタッフ）として活動してもらうと本人もやる気を起こして生きがいを感じ，より積極的に協力するようになる。（例えば，抹茶・折り紙・歌・ゲームなど）皆が，主役の居場所となり参加者も増え，フレイル対策にもなると思う。	通いの場の充実が高齢者の生きがいづくりに繋がるように，高齢者の趣味や特技をいかし，参加者が主役となる通いの場の充実や好事例について情報共有できる交流会の開催について記載しました。	－

（２）市の考え方を説明するもの（２１件）

No.	項目	意見要旨	意見に対する市の考え方	類似の意見数
1	P31 （６）多様な人材の確保及び業務効率化の推進	職員数の充実のための対策として，離職の介護福祉士には定期的に復職の呼びかけレターが届くが，同様に登録していない介護福祉士にもレターを届けることはできないか。	介護福祉士等の届出や届出した方への情報提供は，県が設置している社会福祉人材センターが実施しています。 ご意見については，社会福祉人材センターへ情報提供します。	－
2	P31 （６）多様な人材の確保及び業務効率化の推進	訪問看護にも処遇加算をいただきたい。	介護職員処遇改善加算は，介護職員を対象とするもので，対象になりませんのでご理解ください。	－

No.	項目	意見要旨	意見に対する市の考え方	類似の意見数
3	P31 P71 （６）多様な人材の確保及び業務効率化の推進	地域によっては職員不足で訪問介護が利用ができない,職員の給与も上がらずモチベーションが上がらないなど，多く意見を聞きます。数年後には，今の介護サービスを使用（利用）する方はマックスになり，どこの事業所も黒字になると考えられるが，職員が不足すると介護事業は成りたたないと思います。	2024年度からの介護報酬については，他産業の賃上げや介護現場の人材不足の状況を踏まえた改定が行われる予定です。 本市としましては，「福山市福祉・介護人材確保等総合支援協議会」に参画する中で，介護職のイメージアップや魅力の発信，就職面談会や説明会の参加など，介護人材の確保に取り組んでまいります。	―
4	P35　２健康づくりの推進 （１）健康づくりと生活習慣病予防の推進	運動普及推進員もフレイルや百歳体操にも関われるように組織化・合体化をしていただきたい。	運動普及推進員は，「運動」を通じた健康づくりを推進するため，フレイルサポーターは，フレイルチェック会を通じて，「運動」，「栄養・口腔」，「社会参加」の３つを柱とするフレイル予防を推進するため，それぞれ市が養成しているボランティアです。 また，いきいき百歳体操は，地域住民が主体となって立ち上げ，自主的に行っている活動です。 フレイルチェックの結果に応じて，いきいき百歳体操や運動普及推進員が行う運動教室などのフレイル予防活動につなげるなど，連携して取り組んでいるところです。	―
5	P36 （２）フレイル予防の推進	フレイルだけでなくサルコペニア対策（医療連携含）も同時にすべきではないか。	サルコペニアは，筋肉量の減少や筋力が低下している状態のことで，フレイルの要因の一つとされており，フレイル予防に取り組むことは，サルコペニア対策にもつながるものと考えます。また，本市では，フレイルチェック等を通じて，フレイルの恐れのある人を把握した場合は，専門職が対応し医療につなげるなど，医療との連携を図っているところです。	―

No.	項目	意見要旨	意見に対する市の考え方	類似の意見数
6	P38～P39 ３暮らしを支える施策の推進 （１）地域福祉活動の推進	ボランティアを希望していても情報が少なく，開始できない人や介護職を退いた人も経験を生かしたい人が多くいます。ホームページにボランティア情報を充実していただきたい。ホームページなどが苦手な人も，すこやかセンターなどに度々出向かなくて情報を得る対策を考えていただきたい。	社会福祉協議会の各事務所では，ボランティアに関する相談ができます。福山市社会福祉協議会のボランティアセンターへ登録していただくと，毎月１回発行するボランティア情報誌「つなぐ」をご自宅へ郵送またはメールすることができます。「つなぐ」へは，ボランティアの募集情報やボランティアに関する講演会・研修会・講座などの情報を掲載しています。 また，社会福祉協議会のホームページでは，ボランティアセンター及びボランティアグループの紹介などの基本情報やボランティアに関する情報を随時掲載し，充実を図っています。	－
7	P38～P39 ３暮らしを支える施策の推進（１）地域福祉活動の推進	交通費などの有償のボランティアがあっても良いのではないかと思います。	ボランティアの活動内容によっては，交通費などの実費が出る場合もあります。 また，生活のちょっとした困りごとを支援するボランティア（生活支援活動）を有償で行っている地域もあります。	－
8	P40 （３）虐待防止・権利擁護の推進	経済的虐待，言葉での虐待，介護放棄など，目立たなくても虐待は，家庭内にも多く疑われていると思います。地域，家庭に向けての取り組みも必要と思います。	高齢者虐待については，地域包括支援センターなど関係機関との連携のもと，迅速かつ適切な対応を行っております。 また，市民や関係機関を対象とした高齢者虐待防止啓発講演会を開催するなど，より多くの市民が高齢者虐待への理解や関心が深まるよう，虐待の未然防止となるように周知啓発に取り組んでまいります。	－
9	P41 （４）多様な住まいの確保	市営住宅への入居条件について，高齢者で生活保護受給者の場合，保証人または身元引受人の有無条件に特例を設けてはどうか。（※居ない場合）	高齢者や生活保護受給者の方で連帯保証人を確保できない場合は，連帯保証人がいなくても入居可能です。入居の際には，緊急連絡先の提出が必要となります。	－

No.	項目	意見要旨	意見に対する市の考え方	類似の意見数
10	P43 （４）就労機会の拡充	ハローワークに相談したが，求職者の数値を示し困難であると説明があり，一部の職員からは，「その中でも主に失業保険受け取りのために来ている」人が多い旨の説明があった。	求人求職者のバランスや求職者の状況等によっては，職業の紹介が困難な場合もあると聞き及んでいます。今後もハローワークと連携しながら就業機会の拡大に努めてまいります。	－
11	P45 （４）感染症対策の推進	コロナ発生時などに，エプロン・マスクなども配給がほしい。	コロナ禍で介護事業所・施設がマスク等の衛生用品の入手が困難な時期において，マスク，ガウン，使い捨て手袋等の衛生用品の配付を行いました。また，クラスター等が発生した場合，事業継続のために購入した衛生用品等の必要経費の一部を補助しました。引き続き，感染予防や感染拡大防止に取り組んでまいります。	－
12	P57　ア 重層的支援体制の整備	重層的支援体制整備は，どこの担当課が実施するのか記載がないが，別の相談支援体制（包括的相談支援体制）に変わっていくのでしょうか。今後，働き手が少ない，高齢社会が進んでいる中で個々の事情に即したきめ細やかな対応を行政が全て担うことは現実的に難しいのではないか。	重層的支援体制整備事業は，福祉総務課が担当しています。これは，既存の相談支援や地域づくりの取組を活かして，地域住民の複雑化・複合化した様々な支援ニーズに対応する包括的な支援体制を充実させるものです。 また，重層的支援体制整備事業には事例全体の調整機能を果たす「多機関協働事業」があり，単独の支援機関では対応が難しい事例については，多機関協働事業において，支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定め，本人や世帯をチームで支援することとしています。	－
13	P64 （４）介護予防・日常生活支援総合事業の推進	ケアマネの更新の負担が大きく退職又はケアマネ職を辞める人が多い。費用負担があっても受講時間が長すぎる。持参レポートの意味，内容のマンネリ化への不満等，ケアマネ業務を行いながらの負担は大きすぎる。	本市では2023年度から（主任）介護支援専門員の更新研修費の一部について補助を行い負担軽減を図っています。 また，介護支援専門員の研修は，介護保険制度の基本理念である利用者本位，自立支援，公正中立等の理念を徹底し，専門職としての専門性の向上を図り，利用者の自立支援に資する適切なケアマネジメントを実現することを目的に行われていると考えます。	－

No.	項目	意見要旨	意見に対する市の考え方	類似の意見数
14	P31 P71 （６）多様な人材の確保及び業務効率化の取組の推進	派遣職員の実態がわからない，派遣職員は一時的な人手補充であり，人材として育てる希望がない。	介護事業所・施設で働く職員の方がどのような雇用形態であっても，介護現場を支える大切な人材と考えます。	1
15	P79 （２）予防　ア　通いの場や認知症予防教室の充実及び予防に関する周知・啓発	買物支援は，認知症予防にもつながるため，高齢者施策には必要だと思う。認知症施策の推進の中に，買物支援などの検討結果や方針が記載されていないが，どのような考えなのか，買物支援も検討してください。	買物をすることは，認知症予防のひとつであると考えますが，この計画においては，認知症施策の事業としてではなく，外出支援事業に含めて記載をしてます。 また，学区の配達ボランティアを活用した買物支援は，２学区で実施しています。今後も，実施を希望する団体に対して，事業の説明を行っていきます。	―
16	P81 （４）認知症バリアフリーの推進・若年性認知症への支援・社会参加支援	若年性認知症の人への支援は，初期（診断された直後）の支援が必要であるため，病院と連携して，診断当日に支援できるサポート体制を作っていただきたい。	各地域包括支援センターへ認知症地域支援推進員を配置して，医療機関と介護サービス事業所及び地域の支援機関をつなぐ等，関係機関との連携体制を強化しています。引き続き，相談支援体制の充実に努めてまいります。	―
17	P86 （２）フレイル予防の推進	あるお店で，フレイルチェックの声かけをしていたが関心が少なく参加者が少なかった。健康診査の必要項目と位置づけるなど，個別対応や関心度を上げる結果につなげる調査方法を望む。	健康診査は，法令等に基づき糖尿病などの生活習慣病の予防を目的に実施しています。 また，フレイルのリスクが高まる７５歳以上の人については，後期高齢者健康診査において，フレイルに関する質問項目を追加し，医師が健康状態を総合的に把握しています。	―

No.	項目	意見要旨	意見に対する市の考え方	類似の意見数
18	P86 （２）フレイル予防の推進	フレイルチェック数は徐々に増えているとはいえ，重度化予防には今のままでは間に合わないのではないか。	フレイルチェック会では，フレイルチェックを通じて自らの健康状態を把握し，状態に応じたフレイル予防の取組につなげているところです。 また，身近な地域で，いきいき百歳体操，居場所，運動教室など住民が主体となったフレイル予防活動が活発に行われるように取り組んでいるところです。 重度化防止の取組としては，専門職が提供する介護予防サービスなどがあり，フレイル予防から重度化防止まで切れ目なく取り組んでいるところです。	―
19	P90 （２）自立した在宅生活の支援	交通不便地は，交通面の観点だけではなく，生活に必要な病院や，食料品店，生活用品店が少ないという観点も必要ではないか。公共交通空白地や交通不便地として認定する基準があるなら公表してほしい。	公共交通空白地域については，「福山市立地適正化計画」において，バス停から500m，鉄道駅から1km以上離れた公共交通の利便性が低い可住地エリアと定義している。 交通不便地については，現在策定中である「福山・笠岡地域公共交通計画」において，地形的・空間的・時間的に交通が不便な地域と定義しています。	―
20	P90 （２）自立した在宅生活の支援	実施地域以外の外出支援事業については，どのように検討されているのか。	外出支援事業については，地域のボランティア団体による活動のため，実施を希望する団体に対して，事業の説明を行っています。 また，高齢者等の移動困難者の増加は，地域公共交通の課題のひとつであると考えており，「福山・笠岡地域公共交通計画」においても，移動制約者の移動環境の充実や地域特性と移動需要に応じた暮らしを支える移動手段の確保・充実に向けて取り組んでまいります。	―

（３）今後の施策の参考とするもの（４件）

No.	意見要旨	類似の意見数
1	通いの場所やデイサービス，デイケアの利用に関して男性は消極的である。アンケートにも利用度（男女別）の分かる部分があれば良いのではないか。対策も具体化にできないか。男性への在宅介護の負担の多い家族が目立つと思います。	－
2	働きやすい職場として保育・託児所の設置をすすめてほしい。小さい事業所は他とタイアップして空き情報の公開により充実させていく。	－
3	認知症（アルツハイマー）の新薬について，福山で対応できる病院の情報公開をしていただきたい。	－
4	相談したくても包括支援センターの場所が分からない。あちこちに問い合わせる事でやっと動ける。包括の役割，本人又は，家族の住所の担当包括を分かり易く周知して欲しい。支所，交流館，地域の病院，集会所，老人プラザなど，全市でなくてもその地域包括の場所，地図，ＴＥＬなど大きな字で作成し提示して欲しい。 65歳に介護保険証送付する時に，その地区の包括の紹介文を入れるとか工夫して欲しい。	－